

はじめに

全国的に少子化や核家族化、価値観の多様化、雇用の流動化など社会が大きく変化してきています。それにともない、かつて地域社会が生活の営みの中に宿していた人と人とのつながりや教育力が失われつつあります。また、規範意識やモラルの低下が原因と考えられる心を痛める出来事がメディアによく取り上げられています。

雲南市は、美しい自然、文化、歴史、教育熱心な人々に恵まれた大変素晴らしい教育環境にあります。子どもたちは地域の教育資源「ひと・もの・こと」に触れる活動を通して、豊かな心を育むことができます。

島根県では、「ふるまい向上」を合言葉に、社会全体、すべての年代で、ふるまいを向上させる県民運動を展開しています。

ふるまい向上とは、「礼儀、作法、挨拶、しぐさ、モラル、ルール、しつけ、道徳、倫理観、生活行動、生活動作、思いやり」などを「ふるまい」と総称して、乳幼児から大人まで、みんなで、「ふるまい」を向上させていこうというものです。「ふるまい」を身につけるということは、社会人として「自立して生きる力」「人と共に生きる力」を自ら育てていくということです。

雲南市教育委員会でも、この「ふるまい向上」を積極的に推進し、学校・幼稚園・保育所・家庭・地域が連携して、社会全体で子どもを育む機運を醸成していくことが大切であると考えています。

この取組が成果をあげていくためには、直接子どもたちやその保護者に働きかけ支援していく部分と、大人自身が子どもたちのよい手本となるように自らの「ふるまい」を省みて社会全体の「ふるまい向上」を進めていく部分が必要です。

雲南市の各地域自主組織等ではそれぞれの地域の実態にあわせ、多くの生涯学習・社会教育が積極的に展開されています。雲南市教育委員会では、地域で実施されている素晴らしい実践を市内全域の学校・幼稚園・保育所・家庭・地域に広げていくこと、また、それぞれの交流のきっかけとなればという二つの目的から各地域自主組織等の皆様に貴重な実践を提供していただき「ふるまい向上実践事例集」を取りまとめました。

